

令和7年度 大石田町立大石田中学校 経営方針

関係法令，学習指導要領
第7次県教振計画
大石田町がめざす子ども像

学校教育目標

夢をいただき、生き生きと輝く生徒の育成

生徒の実態
地域・保護者の願い
教職員の思い

校訓

時を守り
場を淨め
礼を尽くす

めざす大中学生像

- 1 共に認め合い，思いやりのある生徒 (心情)
- 2 自ら学び，生きる力を身につける生徒 (叡智)
- 3 心身ともにたくましく，活力みなぎる生徒 (健康)

目指す大中学生の姿

「笑顔」「活力」「信頼」

生徒や教師の笑顔と笑い声がたくさんあって、目標達成に向けて前向きでエネルギーに取り込む姿がある。互いに信頼の中で学び合い、助け合える、そんな生徒集団でありたい。

経営の基本方針

- 1 大石田町民との直接的な触れ合いを通し，故郷大石田町への愛情を備えた大中学生を育てる。
- 2 ステューデント・ファーストの理念で，地域・保護者・教職員が協働できる学校をつくる。
- 3 「おかげさまで」の精神で謙虚に学び続け，「師表」を志す教職員チームをつくる。

経営の重点

確かな学力を保障する

- 1 指導と評価の一体化を日常的に実践し，学力3観点それぞれの向上を図る
- 2 生徒間の対話による課題解決を中核に，思考力・判断力・表現力の更なる向上を図る
- 3 I C Tを活用して個別最適な学びと協働的な学びを実践し，個々の学力向上を図る
- 4 大石田町由来の教材開発に努め，町民との交流で郷土愛と貢献の態度を育む

自主自律を培い，自立心を育む

- 1 多くの体験活動を通して，豊かな人間性としなやかに対応できる力を養う。
- 2 生徒会活動と学級活動の一層の充実を図り，絆づくりと居場所づくりを強化する
- 3 教育活動全体で発達支持的生徒指導を機能させ，一人一人の個性を伸長する
- 4 教育活動全体で，生徒に自己決定させる体験を積み重ねさせ，自律心を培う

安全・安心・安定で，信頼を結ぶ

- 1 「いのちの尊厳」を重視した教育活動を推進し，自他の生命を次世代につなぐ態度を育む
- 2 「生徒・保護者・地域」目線に立ったチーム支援を実践し，信頼関係の強化を図る
- 3 地域・保護者との情報共有と合意形成を重視し，持続可能な協働関係を構築する
- 4 生徒の生きる力の基礎づくりとして，心身の健康増進と体力向上を図る

大中学生に対し最良の教育を持続的に行うために，教職員が働き方改革に主体的に取り組む

～目の前の子どもたちの

笑顔

活力

信頼

あふれる学校に～

故郷を愛する心

故郷大石田を愛し、その魅力を発信できる町民を育てる。

ステューデント・ファースト

生徒一人ひとり、生徒達全体にとって何が一番良いのかを常に考え、指導にあたる。

指導と評価の一体化

経営基本は、P-D-C-A。Check(評価)して 成果が上がるように Action(手立てを更新する)。

生徒間の対話

授業、特別活動の主体は生徒達。生徒間の対話により、深い学びや活動を作り出していく。

発達支持的生徒指導

全ての児童生徒を対象に、良さや可能性に気づき、一人一人を伸ばす生徒指導を実践する。

生徒の自己決定力を重視

小さなことでも、生徒に考えさせる。自己決定の場面を通し、自己有用感や責任感を醸成する。

情報共有と合意形成

話をよく聴き、受け入れ、共感的理解を大事にすることで、安心安全な風土を生み出す。

「生徒・保護者・地域」目線に立ったチーム支援

生徒・保護者・地域と協力し合い、考えを出し合って、より良い方向性を見出していく。

◆令和7年度・令和8年度以降の部活動について（本校の体制）

『令和8年度以降、部活動は平日のみとし、休日は、希望する生徒は地域クラブ活動として活動する環境を整えることを目指す(中体連主催大会を除く)』（山形県の方針）

➡大石田町:休日の部活動については令和7年度末を目途にすべて地域展開とする。

〈令和7年度〉＊部活動指導員3名在籍

●野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、陸上競技、吹奏楽

・・・平日、休日とも顧問（各部1名）及び部活動指導員による部活動を継続。

@来年度以降の休日の活動の在り方について、町当局と連携して方向性を定める年となる。

○柔道、剣道

・・・平日は顧問（両部兼務1名）及び部活動指導員による部活動、休日は学校としての部活動は行わない。中体連主催の大会には顧問または他の教員による引率を行う。

※書道・・・新たな募集は行わない。

※水泳・・・外部での活動となる。中体連主催の大会への参加希望があれば申し出ること。

〈令和8年度以降〉＊国ではこれまでの「改革推進期間」を経て2026年度からを「改革実行期間」としている。（前期：令8～令10年度→中間評価→後期：令11～令13年度）

○野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、陸上競技、吹奏楽、柔道、剣道

・・・平日、学校で部活動。

※団体競技において、単独・合同チーム問わず、中体連大会に2大会連続で出場できない部員数である場合は、その部を廃部とする。

部活動は任意加入です。加入しない生徒は1便目で下校します。